

施策評価調書(1)

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

めざす姿	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”
施策名	1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出
施策関係課	(建設部)公園課／(都市計画部)みどり課

●施策の基本方針(目標)
本市に広がる貴重で豊かな自然環境を守り、市民が自然を身近に感じながら生活できるよう、水と緑に親しめる憩いとやすらぎの空間を創出します。

●目標指標							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅳ－1)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	51.7(令和2年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	51.000	57.600	45.600	0.000		
指標②	名称	親水護岸の整備延長				単位	m
	目標値	3,240(令和7年度)	現状値	2,110(令和元年度)		指標の種別	活動
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	2,172.000	2,172.000	2,191.000	0.000		
指標③	名称	保全すべき緑地の確保				単位	m ²
	目標値	200,000.00(令和7年度)	現状値	185,003.32(令和元年度)		指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	182,190.080	182,257.200	182,257.200	0.000		
指標④	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度予算額	令和7年度計画額
	事業費	3,292,636	1,697,274	833,967	687,581	1,003,657
	概算人件費	125,057	100,254	71,574	69,336	69,336
	総事業費	3,417,693	1,797,528	905,541	756,917	1,072,993

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	A	単位施策① 55	単位施策②	単位施策③	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			55.0	

施策評価調書(2)

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

施策を構成する実施計画事業の状況

(単位:千円)

単位施策名	② 緑地環境の整備							
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (予算額)	令和7年度 事業費 (計画額)	令和5年度の 総評価	令和6年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
沼田公園整備事業	建設部 公園課	51,996	497,332	7,777	0	7,000	54	現状維持で実施
		3,950	3,850	1,975	2,025	2,025		
赤山歴史自然公園整備事業	建設部 公園課	2,760,146	389,828	75,004	—	—	58	完了
		55,458	32,417	3,950	—	—		
緑地保全事業	都市計画部 みどり課	21,646	18,670	20,678	22,515	22,515	56	現状維持で実施
		31,600	30,800	31,600	32,400	32,400		
保全緑地等公有地化事業	都市計画部 みどり課	38,628	200,496	4,180	52,642	52,642	56	現状維持で実施
		7,900	7,700	7,900	8,100	8,100		
都市公園指定管理者管理費	建設部 公園課	347,637	347,637	347,637	530,687	530,687	56	拡充して実施
		1,580	1,540	1,580	1,620	1,620		
荒川運動公園施設運営費	建設部 公園課	14,173	36,689	43,239	48,919	48,919	54	現状維持で実施
		8,374	8,162	8,374	8,586	8,586		
公園等公有地化事業	建設部 公園課	46,176	193,201	320,849	16,251	325,327	54	現状維持で実施
		1,975	1,925	1,975	2,025	2,025		
緑化推進事業	都市計画部 みどり課	12,234	13,421	14,603	16,567	16,567	54	現状維持で実施
		14,220	13,860	14,220	14,580	14,580		

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	沼田公園整備事業				担当	建設部	
						公園課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-242-6339	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	元	年度	～	令和	7	年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備						
根拠法令等	都市公園法						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園利用者		市民	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	隣接する第2沼田公園と一体的に防災機能を備えた公園として整備を行う方針であり、災害時に周辺住民が避難できる場を提供し、平常時は市民の憩い場を創出する。		・旧鳩ヶ谷市民プール解体工事 ・旧鳩ヶ谷市民プール解体設計業務委託 ・沼田公園実施設計委託 ・沼田公園用地測量委託 ・沼田公園整地工事 ・沼田公園整備工事	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	沼田公園整備工事に伴い、事後の家屋調査委託を実施。		家屋調査を行った。令和7年度、申し出のあった方に対し補償費の算定及び補償を予定。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	5 目	1 細目	1 細々目	沼田公園整備事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		55,766		507,390		8,585		0		7,000
決算額(B)=(C)+(D)		51,996		497,332		7,777				
財源※	特定財源(C)	0		285,000		0		0		
	一般財源(D)	51,996		212,332		7,777		0		
概算人件費(E)		3,950		3,850		1,975		2,025		2,025
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.25	0.00	0.25 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		55,946		501,182		9,752		2,025		9,025

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
54 ／60	順調に事業を進めている。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	赤山歴史自然公園整備事業				担当	建設部
						公園課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-242-6337	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	24	年度	～	令和	5	年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備						
根拠法令等	都市計画法、都市公園法、景観法、川口市都市公園条例等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民等(地域住民、公園・ハイウェイオアシス利用者)		市民等(地域住民、公園・ハイウェイオアシス利用者)	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	豊かな自然環境や歴史・文化遺産を活用し、さらに、広域的な利用集客を促進するため首都高速㈱との事業連携によりハイウェイオアシス化を図ることで、地域の振興と農業の活性化にも資する公園を整備し、人と人とが交流するにぎわいあるまちづくりを進める。		・イナパーク川口の整備	
当該年度の 実施内容及び 成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・バス発着所整備工事 ・ウッドデッキ整備工事		バス発着所を整備することにより、公園へのアクセス手段の選択肢が増え、来園者の利便性の向上に寄与した。 大池の東岸の芝生広場から水面に張り出しデッキを整備し、水生生物をより観察しやすい環境を整備することで、来園者の満足度の向上に寄与した。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	公園整備面積				指標・目標値の説明(算定式)	イナパーク川口の整備予定面積8.9haに対する整備状況。						
	単位	ha		指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度			令和4年度		令和5年度			令和6年度		令和7年度	
		8.50			8.50		8.50			—		—	
		実績値・達成状況		8.50		達成	8.50		8.50			達成	
指標②	名称	周辺整備面積				指標・目標値の説明(算定式)	イナパーク川口の周辺整備予定面積0.1haに対する整備状況。						
	単位	ha		指標の種別	結果								
	目標値	令和3年度			令和4年度		令和5年度			令和6年度		令和7年度	
		0.06			0.09		0.10			—		—	
		実績値・達成状況		0.06		達成	0.09		0.10			達成	

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	6 目	2 細目	1 細々目	赤山歴史自然公園整備事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		2,854,783		392,438		76,061		0		0
決算額(B)=(C)+(D)		2,760,146		389,828		75,004				
財源※	特定財源(C)	1,985,679		154,700		45,300		0		
	一般財源(D)	774,467		235,128		29,704		0		
概算人件費(E)		55,458		32,417		3,950		0		0
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	7.02	0.00	4.21	0.00	0.50	0.00	0.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		2,815,604		422,245		78,954		0		0

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
58 ／60	事業の全体計画に基づき、工事行程や工事内容を詳細に検討し、事業を進め、令和4年度のハイウェイオアシス及び公園全体の開設を達成した。令和5年度はバス発着所及びウッドデッキを整備し、事業完了となった。		翌年度	完了
			翌々年度	—

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	緑地保全事業				担当	都市計画部	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-242-5721	新規・継続	みどり課	
						継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	59	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備					
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、同施行規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部補助金・負担金
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市条例に基づき指定した保全緑地、保存樹木等の所有者又は管理者。自然再生活動登録団体。		市条例に基づき指定した保全緑地、保存樹木等の所有者又は管理者。自然再生活動登録団体。 市民。	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	近年の都市化の進展に伴い、樹林地をはじめとする身近な緑が失われつつあるなか、市内に残る身近な緑(樹木、樹林地等)を保全し、緑豊かな都市環境の形成及び自然と共生する社会の実現を図ることを目的としている。		緑の保全のため、保全緑地等の指定と奨励金や管理経費補助金の支給。公有地においては、建設部公園課の協力のもと、樹木の剪定、伐採等を行うと共に、協力団体に管理費用の一部を補助するなどして維持管理を行っている。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	市条例に基づき指定した保全緑地、保存樹木等の所有者又は管理者に対し、奨励金を支給した。 申請を随時受付し、剪定費用の補助として、管理経費補助金を保全緑地については30万、保存樹木については10万(生け垣については3万)を上限として支給した。		公有地等で緑地の管理を行っている自然再生活動団体に対し助成金を支給し、適正管理活動により良好な緑地空間の形成が図られた。保存樹木等管理経費補助制度については、13件の申請があり、適正な緑地等の管理が図られた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	保存樹木等管理経費補助制度			指標・目標値の説明(算定式)	市条例に基づき指定した保存樹木等の所有者又は管理者からの申請件数				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		10.00		10.00		10.00		0.00		0.00
	実績値・達成状況	10.00	達成	13.00	達成	13.00	達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	7 目	3 細目	1 細々目	緑地保全事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	22,402	19,904		22,948		22,515		22,515		
決算額(B)=(C)+(D)	21,646	18,670		20,678						
財源※	特定財源(C)	2,054	2,050		3,554		3,012			
	一般財源(D)	19,592	16,620		17,124		19,503			
概算人件費(E)		31,600	30,800		31,600		32,400		32,400	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	53,246	49,470		52,278		54,915		54,915		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策				今後の実施方向性	
56 ／60	自然再生活動団体助成制度については、団体の活動範囲の増大や活動内容等の更なる充実が図られている状況下において、従来の助成額では十分な自然再生活動を行うことが難しくなるという事態が発生していたため、要綱の見直しにより、令和4年度以降の助成額拡充を行った。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	保全緑地等公有地化事業				担当	都市計画部	
						みどり課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-242-5721	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	2	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備					
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、川口市緑の基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)		
	土地所有者、市民		市民		
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)		
	市内に残る貴重な緑は、市条例により保全しているが、相続に伴う開発などにより年々減少している。緑は、人々に潤いとやすらぎをもたらし、美しく、住みよいまちづくりに寄与するものであり、必要に応じて公有地化を図っていく必要がある。		特に重要な緑地を永続的に保全するため、公有地化を図る。		
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】		
	東内野前町東保全緑地の一部について、公有地化を行った。		東内野前町東保全緑地の一部について公有地化を行い、地域における貴重な緑の景観資源を保全することができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	7 目	6 細目	1 細々目	保全緑地等公有地化事業	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		38,629		212,560		54,458		52,642		52,642
決算額(B)=(C)+(D)		38,628		200,496		4,180				
財源※	特定財源(C)	25,962		190,242		4,116		52,000		
	一般財源(D)	12,666		10,254		64		642		
概算人件費(E)		7,900		7,700		7,900		8,100		8,100
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		46,528		208,196		12,080		60,742		60,742

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	将来の公有地化後、人が立ち入る前提で管理を行うことを踏まえ、保全緑地の効率的な管理方法等について、コスト面の分析も含め今後も調査検討していく。特に重要な緑地を永続的に保全するため、公有地化の候補地や財源確保に向けた検討を引き続き進めていく。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	都市公園指定管理者管理費				担当	建設部 公園課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6337	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備					
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	指定管理
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	(公財)川口市公園緑地公社 (一社)川口市造園業協会		公園利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供する。		公園維持管理業務 ・樹木管理 ・除草 ・清掃 ・遊具点検 ・簡易な修繕	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	公園維持管理業務 ・樹木管理 ・除草 ・清掃 ・遊具点検 ・簡易な修繕		公園利用者に安心して快適に利用できる環境を提供することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位	指標の種別									
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	4 目	2 細目	2 細々目	都市公園指定管理者管理費	
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
予算額(A)		347,637		347,637		347,637		530,687		530,687
決算額(B)=(C)+(D)		347,637		347,637		347,637				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	347,637		347,637		347,637		530,687		
概算人件費(E)		1,580		1,540		1,580		1,620		1,620
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	349,217		349,177		349,217		532,307		532,307

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策		今後の実施方向性	
56 ／60	公園利用に対するニーズは高まっており、公園利用者の安全性と快適な利用環境を引き続き整える必要がある。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	荒川運動公園施設運営費				担当	建設部
						公園課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6337	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	29	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備					
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民全般		市民全般	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	ドッグラン、バーベキュー場、駐車場及び親水護岸の利用者に対し、快適な施設の利用環境を提供すること。		施設維持管理業務 ・公園施設修繕 ・除草 ・トイレ管理 ・バーベキュー場運営委託	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	施設維持管理業務 ・公園施設修繕 ・除草 ・トイレ管理 ・バーベキュー場運営委託		市民の憩いの場の安全性と快適性を確保し、レクリエーション及びコミュニケーションの向上に寄与することができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	4 目	2 細目	3 細々目	荒川運動公園施設運営費			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	17,641	41,429		44,993		48,919		48,919		
決算額(B)=(C)+(D)	14,173	36,689		43,239						
財源※	特定財源(C)	3,372	25,646		31,808	31,502				
	一般財源(D)	10,801	11,043		11,431	17,417				
概算人件費(E)		8,374	8,162		8,374	8,586		8,586		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.06	0.00	1.06	0.00	1.06	0.00	1.06	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	22,547	44,851		51,613		57,505		57,505		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、以前の賑わいを取り戻しつつある。安全を確保したうえで利用者が快適に過ごせる環境を継続して整えていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	公園等公有地化事業				担当	建設部
						公園課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6337	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	3	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	IV 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備					
根拠法令等	都市公園法、川口市都市公園条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	公園		公園利用者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	現在、民地を一部借り上げて公園としている公園について、計画的に用地を購入し、公有地化したうえで、引き続き公園として活用するもの。		公園用地購入に伴い、土地鑑定、測量委託等を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・土地鑑定 ・公園用地購入		用地を恒常的に公園として使用することができるようになった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		8 款	4 項	4 目	12 細目	1 細々目	公園等公有地化事業			
年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)		46,300		295,006		321,055		16,251		325,327		
決算額(B)=(C)+(D)		46,176		193,201		320,849						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	46,176		193,201		320,849		16,251				
概算人件費(E)		1,975		1,925		1,975		2,025		2,025		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		48,151		195,126		322,824		18,276		327,352		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	借地公園はまだ他にも残っており、引き続き計画的に用地購入の交渉を行っていく必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和5年度

事業名称	緑化推進事業				担当	都市計画部	
						みどり課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-242-6335	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	48	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅳ 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”-1 豊かな水と緑に親しめる空間の創出-② 緑地環境の整備					
根拠法令等	川口市緑のまちづくり推進条例、同施行規則、川口市緑の基本計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業対象	事業の対象(市民等、団体、もの)		受益者(最終的に受益を受ける人)	
	市民、市民ボランティア、事業者		市民、市民ボランティア、事業者	
事業の概要	事業の目的(何のために)		事業の内容(事業期間を通して何をするのか)	
	市民、事業者、行政が一体となって緑の創出に取組み、緑豊かな潤いのある美しいまちづくりを進める。		・500㎡以上3,000㎡未満の敷地に建築物を建てる場合の緑化指導 ・公園花壇や街路のフラワースタンドなどでのボランティア活動支援 ・フラワーロードのスポンサー企業、団体の募集 ・生け垣設置、屋上緑化等の補助	
当該年度の実施内容及び成果	具体的な実施内容(当該年度に何をしたのか)		事業の成果【定性的評価】	
	・緑化指導及び緑化補助による宅地の緑化 ・緑化ボランティア活動支援による公共空間の緑化 ・事業資金に充てるため、フラワーロードスポンサー事業及び緑の羽根や環境みどり基金の募金活動を実施		宅地及び公共施設の緑化により、緑の美しい景観が創出された。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	緑化ボランティア活動団体数			指標・目標値の説明(算定式)	公園花壇やフラワーロードなどで草花の植替えや維持管理を行う団体数(基準:95団体)				
	単位	団体	指標の種別	結果						
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
		95.00		95.00		95.00		95.00		0.00
	実績値・達成状況	83.00	未達成	81.00	未達成	76.00	未達成			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	8 款	4 項	7 目	2 細目	1 細々目	緑化推進事業			
年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		
予算額(A)	12,843	13,683		20,588		16,567		16,567		
決算額(B)=(C)+(D)	12,234	13,421		14,603						
財源※	特定財源(C)	6,095		4,607		8,698		8,949		
	一般財源(D)	6,139		8,814		5,905		7,618		
概算人件費(E)	14,220	13,860		14,220		14,580		14,580		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	26,454	27,281		28,823		31,147		31,147		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	効率性	期待どおりの成果	期待以下	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
有効性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価【定量的評価】・今後の事業展開

総評価	事業を実施する上での課題及び改善方策	今後の実施方向性	
54 ／60	ボランティアの高齢化により、活動の減少や団体数の減少が生じていることから、事業のPR活動を実施し活動への新規参加を促進した。引き続き、新規ボランティアの登録や効果的な活動につながるよう事業の周知・活動に対する支援を図っていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施